

ヒート・ホーク



ザク・バズーカ



マゼラ・トップ砲



ザク・マシンガン



リアビュー



MS-06FS 'ZAKU II FS'

PRINCIPALITY OF ZEON GARMA ZABI'S CUSTOMIZE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : MS-06FS

TOTAL HEIGHT : 17.5m

WEIGHT : 56.2t

MATERIAL :

SUPER HARD STEEL ALLOY

ARMAMENTS :

30mm MACHINEGUN×4

ZAKU MACHINEGUN

ZAKU BAZOOKA

HEAT HAWK

MAGELLA TOP CANNON



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー(HG「ザクⅡFS型(ガルマ・ザビ専用機)」用、その他カラーセット)をお使いください。

●本体等：

ブラウン (70%)
+イエロー (20%)
+グリーン (10%)
+ブラック (少量)

※または、ガンダムカラー
ブラウン4

●胴、サイドアーマー等：

グリーン (60%)
+濃緑色 (40%)
※または、ガンダムカラー
グリーン1

●胸部、足等：

ニュートラルグレー (50%)
+ブラック (50%)
※または、ガンダムカラー
ファントムグレー

●関節、武器等：

ニュートラルグレー (70%)
+ブラック (30%)
+レッド (少量)

●ヒート・ホークグリップ：

ゴールド (100%)



1/144 SCALE

HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2002 MADE IN JAPAN

※写真の完成品は、塗装してあります。

0113551

BANDAI

MS-06FS “ZAKU II FS”

MS-06FSは、「ガルマ・ザビ」専用機として知られるザクのバリエーションのひとつで、基本的にはもっともスタンダードなザクⅡ、MS-06Fとほとんど変わらない。頭部に30mm機関砲4門の追加装備を施してあるほか、白兵戦闘能力を強化してある以外スペックはF型とほぼ同等の標準的な機体であるといえる。各種の部品などにも特殊なものはないが、組み上がった状態で“出来”の良いものをより抜いて“FS型”への改裝ベースとすることが多く、居住性が多少改善されているという説もあるが、それはこの機体がザビ家やそれに準ずる家柄、あるいは地位を持つものに下賜されていたことによる風評のようだ。F型の生産ラインをほとんどいじらずにFS型を建造することが可能だが、生産数はそれほど多くはない。実際FS型は、頭部に機関砲を装備することにより、ザクⅡの近接戦闘能力を多少向上させた程度の機体である。装弾数も少なく、



ランドセル

F型のランドセルをベースとしながら、S型に近い意匠が盛り込まれている。別の機体のために開発されていた新型のロケットモーターを搭載した機体もあり、FS型のスペック自体に幅が設けられている。

ザク・マシンガン

公国軍のMS用マシンガン。新旧ザクのもっとも一般的な携行武装で、一年戦争の初期に多用された。

ザク・バズーカ

ザクが使用する大型火器のひとつ。口径は280mm。開戦当初は核弾頭の射出にも使用されたが、南極条約締結後は通常弾頭を装備している。

SPEC

型式番号：MS-06FS
頭頂高：17.5m
本体重量：56.2t
装甲材質：超硬スチール合金
武装：頭部30mm機関砲×4
ザク・マシンガン
ザク・バズーカ
ヒート・ホーク
マゼラ・トップ砲

10秒程度で撃ち尽くしてしまう。いわば“高性能機”というよりは“高級機”といった側面の方が強い機体なのである。カタログデータとしては、バーニアスラスターの出力向上なども計られているようだが、実際に戦闘を行った機体の事例はほとんどなく、実際には儀礼用の機体だったという評価の方が確かもれない。機体色はいわゆる「ガルマパターン」で塗装されており、彼専用のドップ戦闘機も同様に塗装されている。ガルマ・ザビ自身、地球攻撃軍司令としてニュー・ヨークに駐留していた時期、どちらかといえばドップに乗ることの方が多かったと伝えられている。ちなみに、頭部機関砲に40mmガトリング砲を採用するプランもあったため、そちらが実装されていたとする資料も存在する。

ブレードアンテナ

基本的に通常のF型の指揮官機に使われているものの同等品。アンテナ基部の構造は、機関砲装備のため変更が加えられている。ただし、アンテナとしての機能そのものは代替品によって維持されている。



頭部30mm機関砲

ザクの側頭部に左右計4門装備された機関砲で、FS型の最大の特徴。口径こそ小さいが、門数が多いので、近接戦闘時における命中率はかなり高い。機構的にはB3グフなどに採用された35mmガトリング砲に近いが、装弾数が少ない上、威力も低い。実戦では威嚇や牽制以外には効果が薄いと思われる。

ヒート・ホーク

MSの白兵戦用の武器。ブレード部分が赤熱化し、敵の機体を溶断する。ガルマ・ザビ専用機は装飾、形状等全体がカスタマイズされたヒート・ホークを装備している。



マゼラ・トップ砲

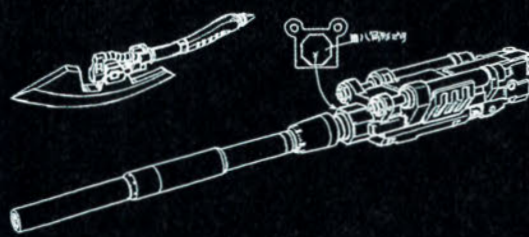
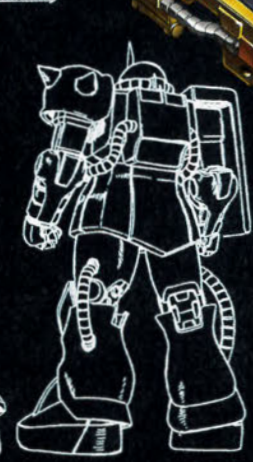
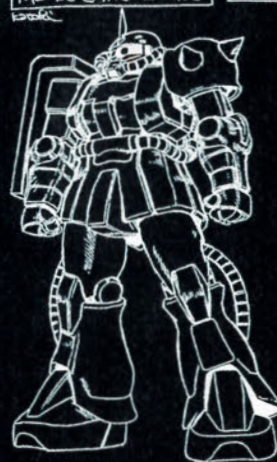
公国軍地上部隊のMBT (Main Battle Tank=主力戦車) “マゼラ・アタック”の主砲として使用されていた175mm砲を取り外し、MS用の手持ち兵器として改修したもの。マゼラ・アタックの砲塔は本体から分離してホバーにより自走する“マゼラ・トップ”としても運用されたため、この名称となっている。



CG Work by YUJI KONNO (Jam)

■MS-06FS ZAKU II FS (ザクⅡFS型(ガルマ・ザビ専用機)) デザインワークス(コンセプトデザイン：カトキハジメ)

MS-06 ZAKU II FS (ガルマ専用機)



「ザクⅡFS型(ガルマ・ザビ専用機)」のリニューアルデザインにおいては、最も特徴的な装備である頭部30mm機関砲や、ヒート・ホークの再現はもとより、肩関節や足首をはじめとする各部のフレキシブルな可動との両立が、重点的なポイントと言える。

illustrated by BEE CRAFT

MS-06FS ザクⅡFS型(ガルマ・ザビ専用機)
MS-06FS ザクⅡFS型(ガルマ・ザビ専用機)は、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および劇場用作品「機動戦士ガンダム」に登場したMSの系譜を探る企画「MSV (モビルスーツバリエーション)」に登場するMSである。U.C.0079年、「一年戦争」の「ルウム戦役」を経て、数度にわたる“地球降下作戦”を展開した公国軍は、地上の約2/3を制圧。オーストラリア大陸東部のシドニーに次々コロニー被害地であった北米大陸のほぼ全土を掌握し、地球方面軍司令部をニュー・ヨークに置いた。そこに司令官として派遣されたのが、ザビ家の末弟ガルマ・ザビであった。彼は、占領した地域の既存の支配者層に対し、積極的な取り込みを計った。いわゆる融和政策を実行していたのである。それは公国軍の戦路でもあったのだが、事実上、連邦軍が排除された占領地域の治安維持は公国軍が担っており、政財界も既得権を維持するため、公国軍に取り入ろうと腐心していた。虫が好かない連中ではあったようだが、まがりなりにもガルマはジオン公国のプリンスであり、“社交界”と称される有象無象の群れの中を見事に優雅に泳いでみせていた。そんな中にあっても、彼は自らの本来の職務を遂行すべく、軍事行動にも積極的に参加していた。ザクへの騎乗に関してはセシメ三一的な場面が多かったが、実戦でのドップの操縦技術に対する評価は高く、打ち立てた武勲は少なくない。

△ 警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

△ 注意 (ちゅうい)

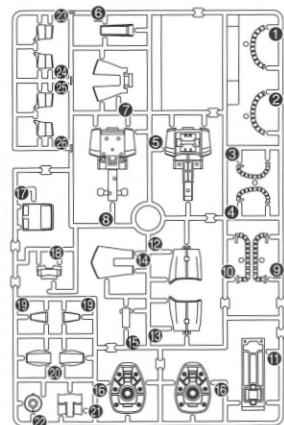
- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。



パーツリスト

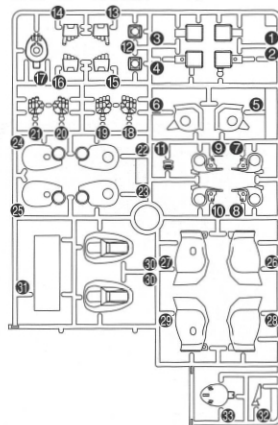
Aパーツ

(スチロール樹脂: PS)



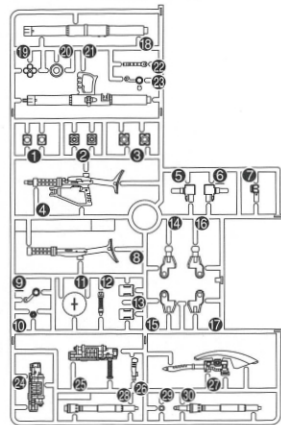
Bパーツ

(スチロール樹脂: PS)

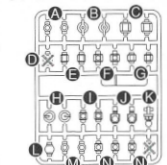


Cパーツ

(スチロール樹脂: PS)



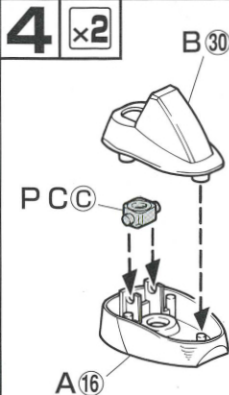
〈P-C-123プラス〉
(ポリエチレン: PE)



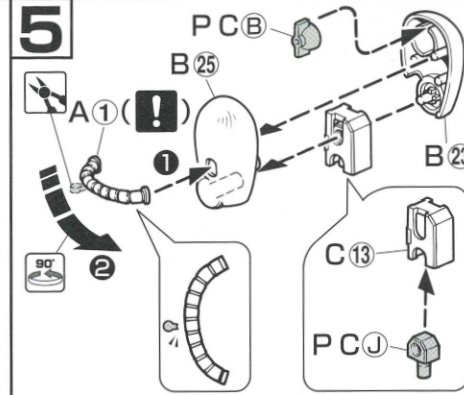
●シール……………1

4

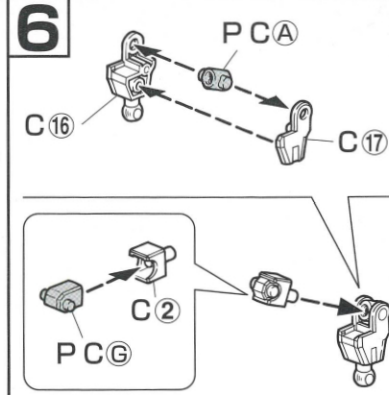
x2



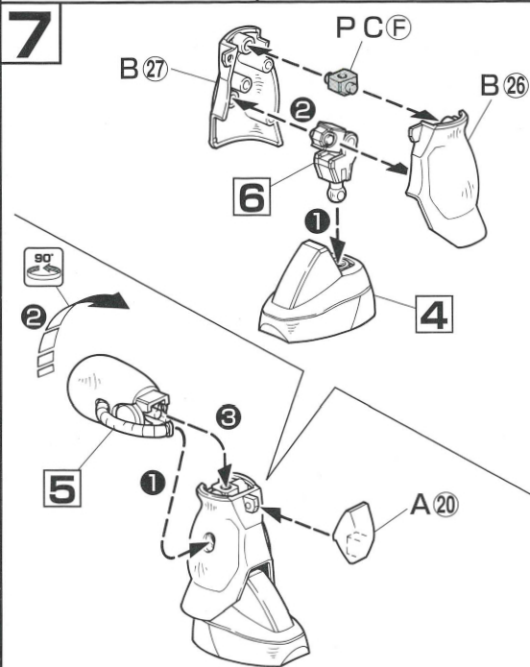
5



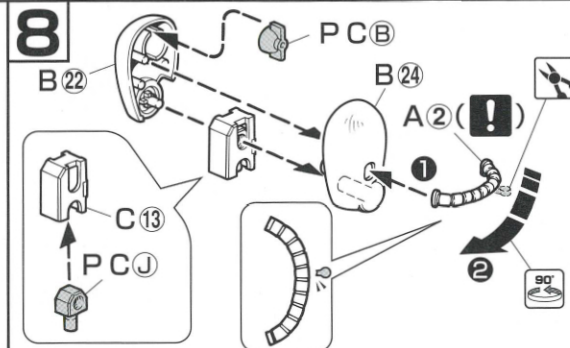
6



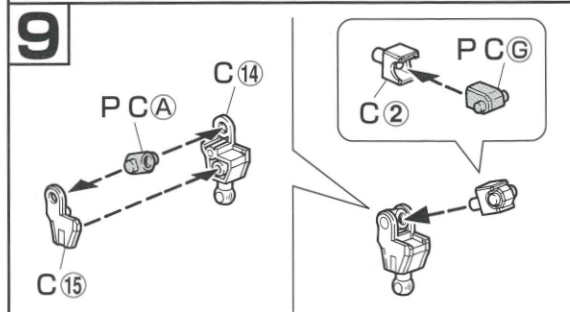
7



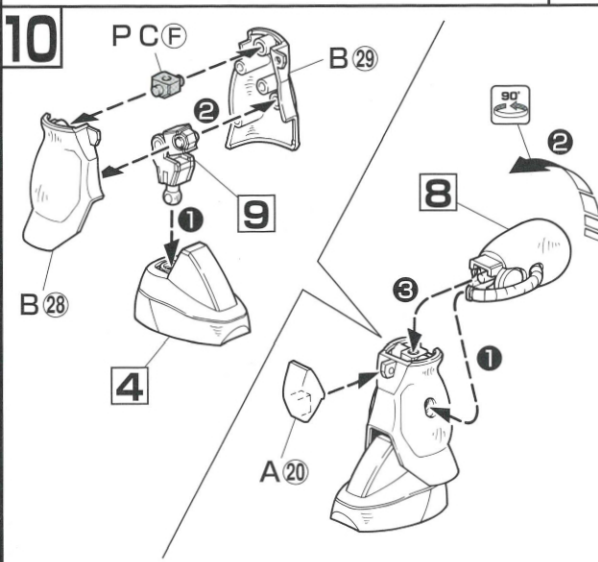
8



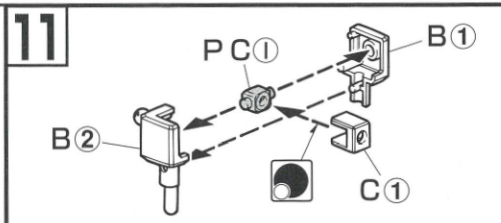
9



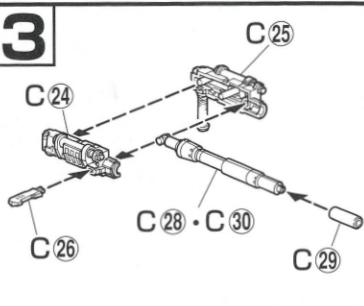
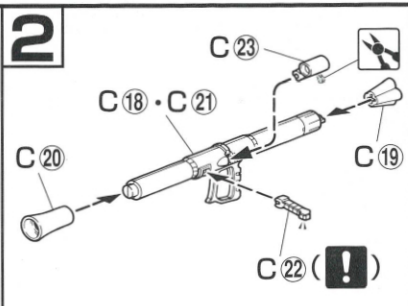
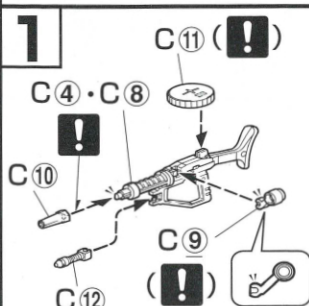
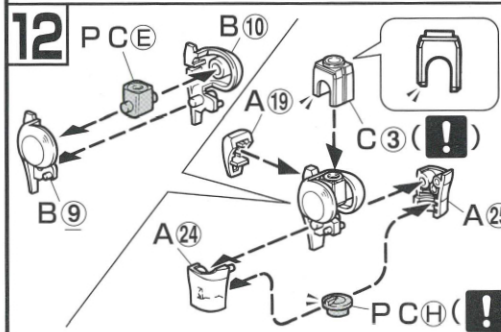
10



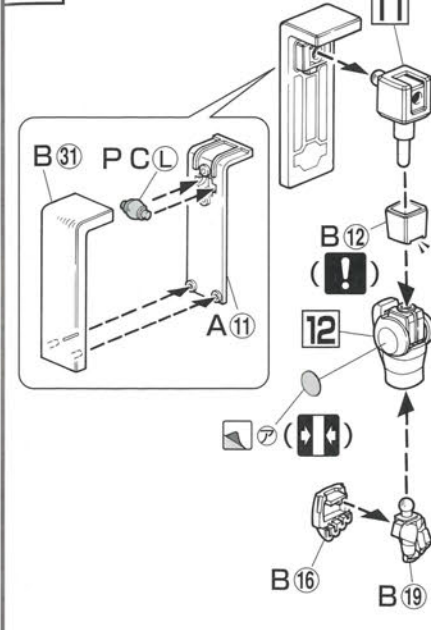
11



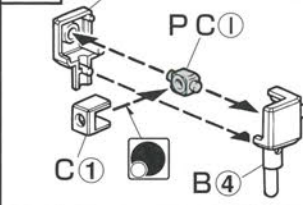
12



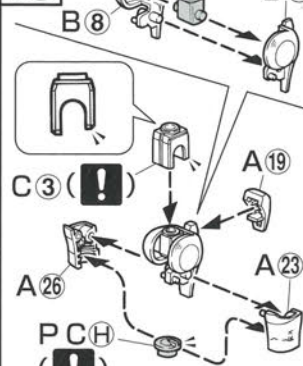
13



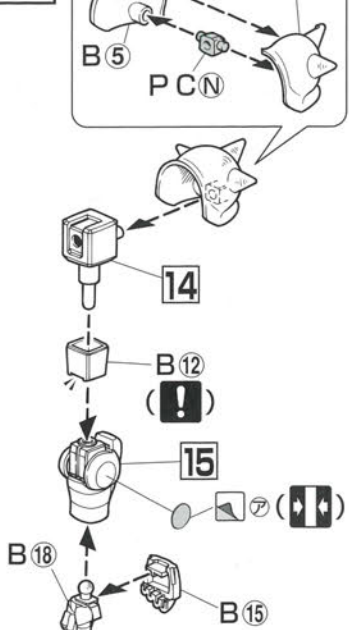
14



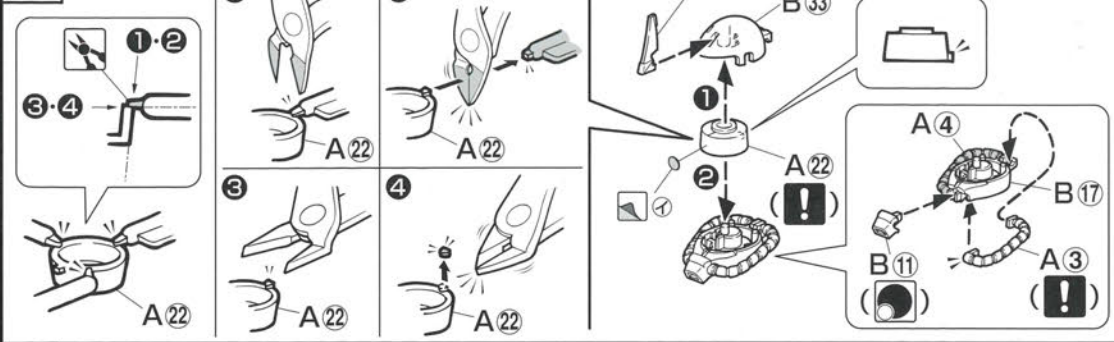
15



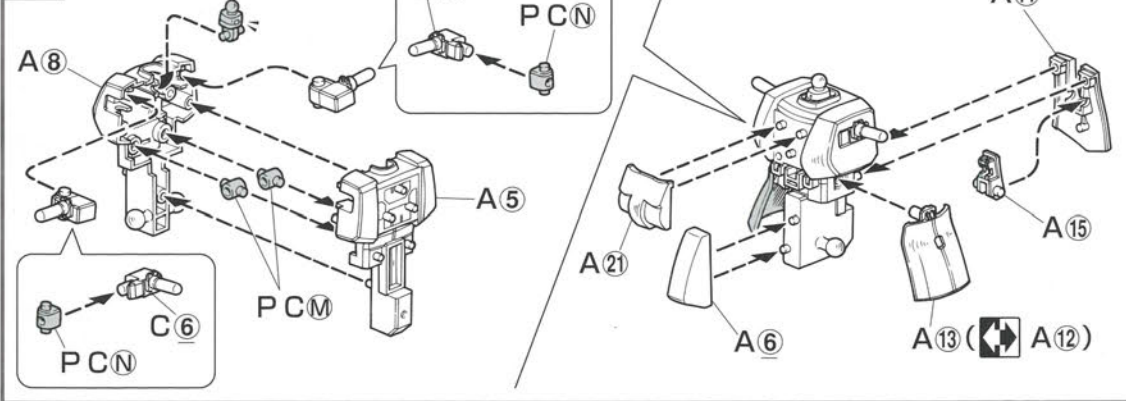
16



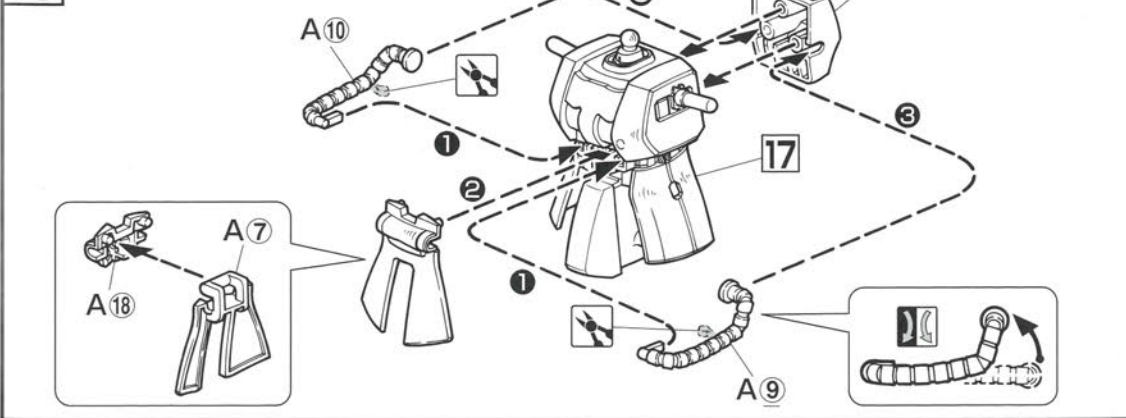
19



17



18



20

